

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます（スクリーン部は対象外）。但し、当社が指定する消耗部品の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境（強度の湿気、煙害、薬品のガス、公害）による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

●お問合せは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

札幌支店	tel.011-841-3731 fax.011-841-9926 〒003-0012	札幌市白石区中央2条3丁目3-10
盛岡営業所	tel.019-645-5271 fax.019-645-5275 〒020-0134	盛岡市南青山町4-8
仙台支店	tel.022-288-8415 fax.022-287-3110 〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町31-35
新潟営業所	tel.025-267-1241 fax.025-231-0506 〒951-8154	新潟市掘割町3-4 川崎ビル1F
宇都宮営業所	tel.028-610-7891 fax.028-610-7892 〒320-0847	宇都宮市滝谷町20-20 SSビル1F
つくば営業所	tel.0297-52-1551 fax.0297-52-1552 〒300-2494	茨城県つくばみらい市小絹551
さいたま支店	tel.048-657-9221 fax.048-657-9191 〒330-0810	さいたま市大宮区土手町1丁目2 JA共済埼玉ビル2F
東京支店	tel.03-3552-2961 fax.03-3552-4460 〒104-0033	東京都中央区新川1丁目14-5 金盃第三ビル4F
東京西営業所	tel.03-5358-3391 fax.03-5358-3392 〒151-0073	渋谷区笹塚3-2-15 第Ⅱベルプラザ1F
多摩営業所	tel.042-525-0431 fax.042-525-0433 〒190-0013	立川市富士見町1丁目21-18 クラン岩崎1F
千葉営業所	tel.043-245-6801 fax.043-245-6805 〒260-0027	千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル1F
横浜支店	tel.045-473-2700 fax.045-473-9660 〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜4F
静岡営業所	tel.054-283-5011 fax.054-283-5120 〒422-8043	静岡市中田本町60-7
長野営業所	tel.026-225-5901 fax.026-225-5902 〒380-0928	長野市若里1丁目21-24 八州若里第二ビル1F
名古屋支店	tel.052-858-2420 fax.052-858-2461 〒466-0033	名古屋市昭和区台町1丁目23
金沢営業所	tel.076-240-2300 fax.076-240-3791 〒920-0364	金沢市松島2丁目209
京都営業所	tel.075-252-0371 fax.075-252-0378 〒604-0847	京都市中京区烏丸通押小路上路秋野々町535 日土地京都ビル3F
大阪支店	tel.06-6260-0821 fax.06-6260-0822 〒541-0053	大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F
神戸営業所	tel.078-382-0173 fax.078-382-0190 〒650-0025	神戸市中央区相生町4丁目4-14 グランダブル2F
岡山営業所	tel.086-244-2222 fax.086-244-1612 〒700-0971	岡山市野田3丁目23-7
広島支店	tel.082-232-0439 fax.082-232-0432 〒733-0037	広島市西区西観音町9-7 なかよしビル1F
高松営業所	tel.087-868-0434 fax.087-868-0491 〒760-0079	高松市松縄町50-13
福岡支店	tel.092-947-2661 fax.092-947-2706 〒811-2414	福岡県粕屋郡篠栗町和田805-2
鹿児島営業所	tel.099-259-2911 fax.099-259-2808 〒890-0055	鹿児島市上荒田町39-10 RJR上荒田102

トーソー株式会社 ●お客様相談室 tel.03-3552-1002
ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ※この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TOSO

ローマンシェード

クリエイティブ^{ドラム}ドラムギアタイプ **キット** 別注品

取扱説明書 No. S-130005

初版

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■安全上のご注意	2
■製品全体図及び部品名称	4
■スタイル	7
■組立方法	8
■製品の取付け／取外し方法	11
■操作方法	15
■お手入れ方法	16
■幕体の左右高さの調整方法	21
■メンテナンスシール	22
■梱包材の処理方法	23
■製品保証書	24

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)



警告



付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。



本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。



取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意



本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。



高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。



製品は、水平に取付けてください。

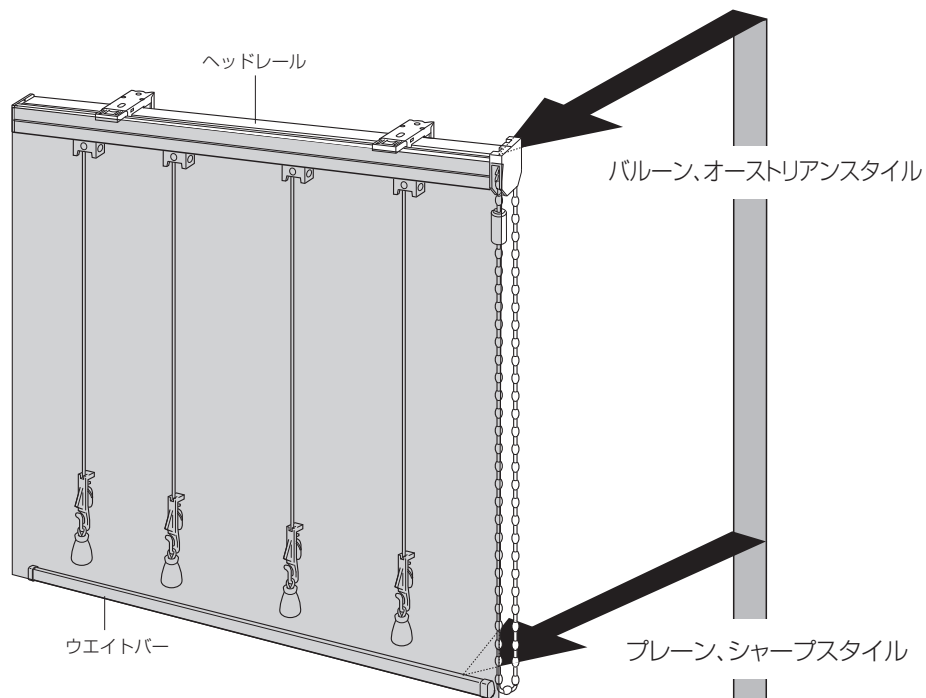


梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、操作側ウエイトバーまたはヘッドレール背面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



—生産日が記載されています。

■ 生産日: **年**月**日	TOSO	
■ 品 名: クリエティッドラム キット プレーン 900×1400		
■ 受注No: *****		
Made in Japan		

—製品仕様が記載されています。

クリエティッドラム キット	プレーン	900×	1400
機種名	スタイル名	製品幅	製品高さ

- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。
- ※ シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

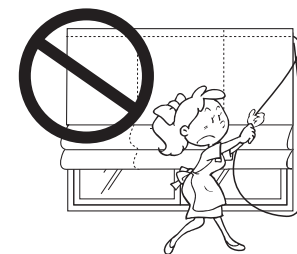
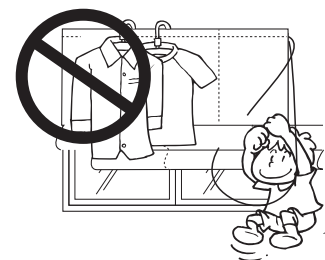
■ 使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)

⚠ 警告

- ⊘ ボールチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ⚠ 操作しない時は、お子様の手が届かない位置で操作コードを束ねて、安全タッセルで留めてください。
- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

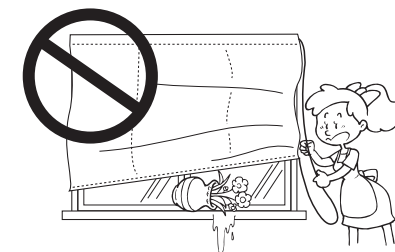
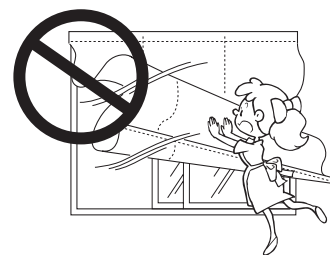


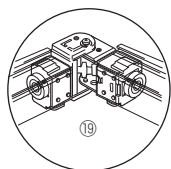
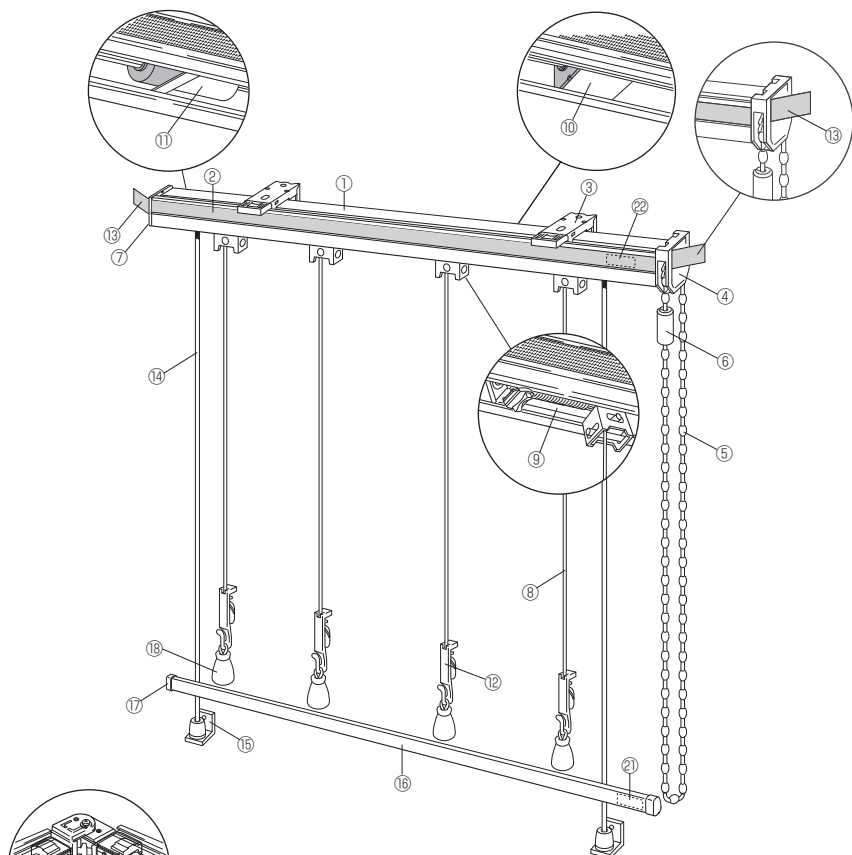
日本ブラインド工業会



⚠ 注意

- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。
- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- ⊘ 必ずボールチェーンを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行わないでください。
- ⊘ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。





部品名

- ①ヘッドレール
- ②挿入式マシックテープ
- ③ブラケット
- ④プーリーセット
- ⑤ボールチェーン
- ⑥ボールチェーンジョイント(ギアタイプにはありません)
- ⑦キャップ
- ⑧昇降コード
- ⑨巻取ドラム
- ⑩クラッチ(ギアタイプにはありません)
- ⑪スピードコントローラ(ギアタイプにはありません)
- ⑫コードアジャスタ
- ⑬リターン(出窓各スタイル)
- ⑭ガイドコード(オーストリアン)
- ⑮ガイドコード止め金具(オーストリアン)
- ⑯ウェイトバー(プレーン、シャープ、両面仕様の場合 2本)
- ⑰ウェイトバーキャップ(プレーン、シャープ、両面仕様の場合 4個)
- ⑱ウェイト(バルーン、オーストリアン)
- ⑲コーナージョイント(出窓各スタイル)
- ⑳両面クリップ(両面仕様)
- ㉑メンテナンスシール(プレーン、シャープ)
- ㉒メンテナンスシール(バルーン、オーストリアン)

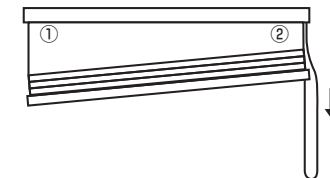
幕体の左右高さの調整方法

① 幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。

② 合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。

① 下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。

② 上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを、長めに巻き直してください。

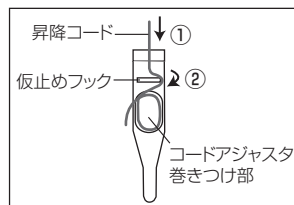
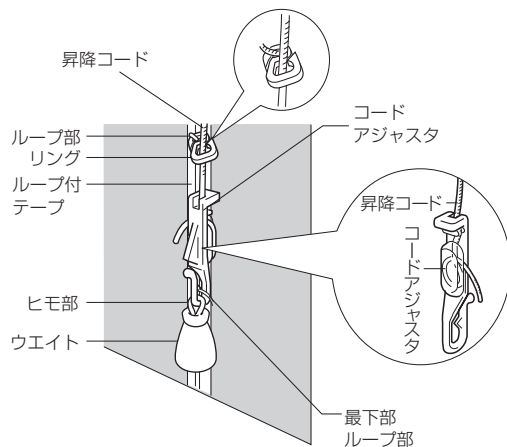


バルーン・オーストリアンスタイルの場合

- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② リングの小さい方の穴をループ付テープのループ部に取付けてください。
- ③ 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。
- ④ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。
- ⑤ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し
(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

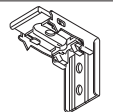
※ 昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。

- ⑥ ウェイトをコードアジャスタに引っ掛けてください。(バルーン、オーストリアンスタイルは大きいウェイトをそれぞれ両端のコードアジャスタに引っ掛けてください。)



■ 付属部品

● クリエティドラム (ギアタイプ) 平窓

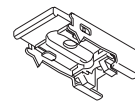
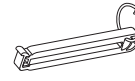
部 品 名	ブラケット※	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)	安全タッセル	両面クリップ※
製品幅 (mm)	 (正面付け・天井付け共通ブラケット) (天井付けブラケット)			
～1200	2個	2本	1個	(製品高さ÷200) × (スワッグ数+1)個
～2000	3個	3本		
～3000	4個	4本		
～4000	5個	5本		

※通常は正面付け・天井付け共通ブラケットが入っています。

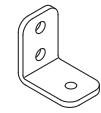
ご注文時に指定があった場合のみ、天井付けブラケットが入っています。

※両面仕様の場合のみ両面クリップが入っています。

● クリエティドラム (ギアタイプ) 出窓

部 品 名	ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)	安全タッセル
製品幅 (mm)	 (天井付けブラケット)		
～2000	2・3連	4個	1個
	4連	5個	
	5連	6個	
～3000	2・3連	5個	
	4連	6個	
	5連	7個	
～4000	2・3連	6個	
	4連	7個	
	5連	8個	

● オーストリアンの場合

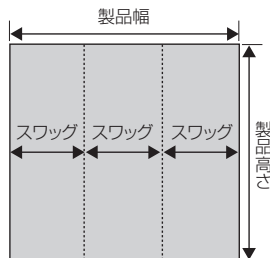
ガイドコード止め金具	ガイドコード固定ネジ (ナベφ4×6)	ガイドコード取付けネジ (ナベφ3×20)
		
2個	2本	4本

■ 製品重量 1.5kg(平窓用プレーンスタイル幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※幕体の重量は含みません。

■ 縫製部品(別売)

※ キットの他に必要な縫製部品をご用意しています。下表を参照いただき、別途お求めください。



<トソー推奨純正部品>

部 品 名(mm)		対応スタイル		使用数量例
		プレーン	シャープ	
ループ付きテープ 200		○	—	(製品高さ+100)mm×(スワッグ数+1)本
ループ付きテープ		○	—	(製品高さ+100)mm×(スワッグ数+1)本
テープ用リング		○	—	「ループ付きテープ」に取付け ●ループ付テープ200の場合 (製品高さ÷200mm)個×(スワッグ数+1)個 ●ループ付テープの場合 (製品高さ÷150mm)個×(スワッグ数+1)個
コードアジャスタ		○	○	(スワッグ数+1)個
マジックテープ 幕体用 (メス側)		○	○	(製品幅)mm
シェイパーテープ2		—	○	●製品高さ～1500mmの場合 (製品高さ方向に120mmピッチ)本×(製品幅mm)個
シェイパー10		—	○	●製品高さ1510～3000mmの場合 (製品高さ方向に150mmピッチ)本×(製品幅mm)個

シャープスタイルの場合

- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② コードアジャスタを最下部のシェイパーテープに取付けてください。
- ③ シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。
- ④ ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
- ⑤ 昇降コードをシェイパーテープに通してください。

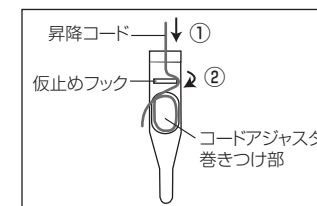
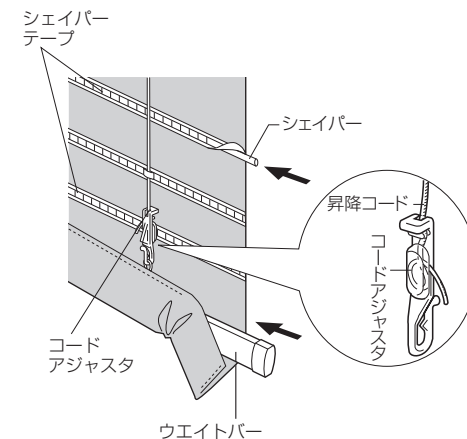
※ 最下部のループ部から、上方向に一本ずつとばしたシェイパーテープに、昇降コードを通してください。

※ 両面仕様の場合は右下の〈両面仕様の場合〉に従ってください。

- ⑥ 幕体の左右高さのバランスを調整しながら、各昇降コードの張り具合が同じになるように、昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

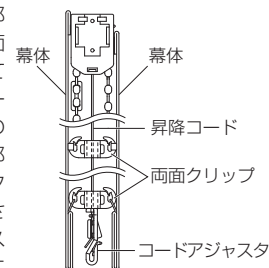
※ コードアジャスタの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

※ 昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



<両面仕様の場合>

● 表裏の幕体のシェイパーテープと最下部のループ部に両面クリップを取付けてください。昇降コードを両面クリップの中央を通し、最下部でコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタのフックは幕体に固定しません。



■ 幕体の取付け方法

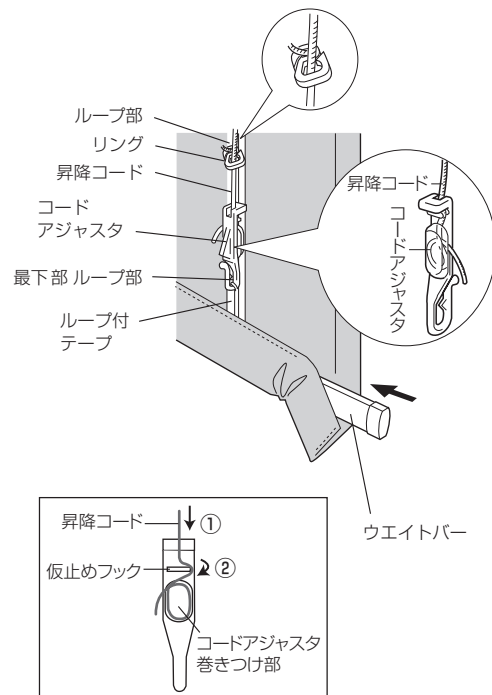
プレーンスタイルの場合

- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② リングの小さい方の穴をループ付テープのループ部に取付けてください。
- ③ 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。

※ 両面仕様の場合は右下の〈両面仕様の場合〉に従ってください。

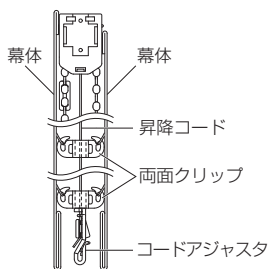
- ④ ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
- ⑤ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一を通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。
- ⑥ 幕体の左右高さのバランスを調整しながら、各昇降コードの張り具合が同じになるように、昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。

※ 昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



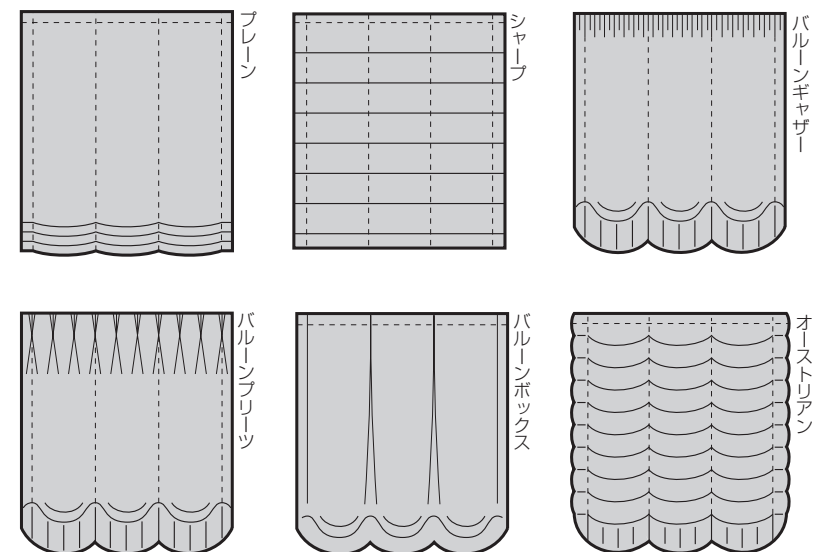
〈両面仕様の場合〉

- 表裏の幕体のループ付テープのループ部に両面クリップを取付けてください。昇降コードを両面クリップの中央に通し、最下部でコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタのフックは幕体に固定しません。

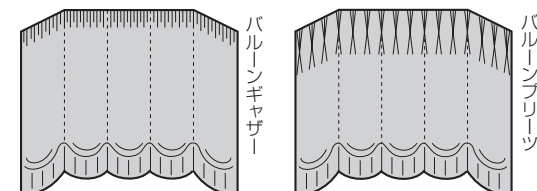


スタイル

■ 平窓



■ 出窓



組立方法

● ヘッドレールに幕体(別売)を取付けてください。

※ 幕体の取付け方は、各スタイルの場合に従ってください。

プレーンスタイルの場合

① ボールチェーンのジョイント部分が手前側の一番上に(右のイラストのように)位置するように調整してください。その際、昇降コードが各巻取ドラムに巻かれていない状態(昇降コードが全て引き出された状態)になっているか確認してください。

② ヘッドレールに幕体(別売)を取付けてから巻取ドラムのつまみを90°ひねって移動し、昇降コードをループ付テープの位置に合わせ、再度90°ひねって固定します。

※ 2スワッグ製品幅510~530mmの場合、キャップ側と中央の巻取ドラムとループ付きテープの位置が若干ずれますが、昇降操作には支障ありません。

③ ループ付テープ最下部のループ部へ、コードアジャスタを取付けてください。

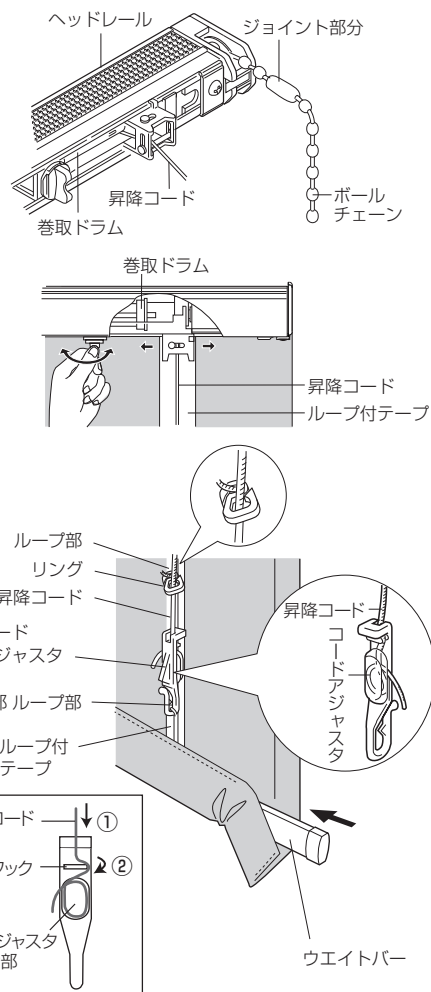
※ リングが外せない場合は、直接リングに取付けてください。

※ 両面仕様の場合は右下の〈両面仕様の場合〉に従ってください。

④ ウェイトバーを幕体に差し込んでください。

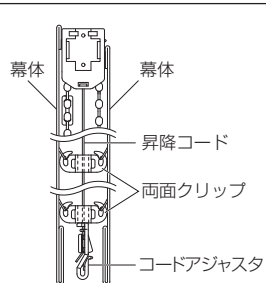
⑤ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。

⑥ 幕体の左右高さのバランスを調整しながら、各昇降コードの張り具合が同じになるように、昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。



〈両面仕様の場合〉

● 表裏の幕体のループ付テープのループ部に両面クリップを取付けてください。昇降コードを両面クリップの中央に通し、最下部でコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタのフックは幕体に固定しません。



シャープスタイルの場合

※ 以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

● 昇降コード…コードアジャスタ上端部の位置。

● シェイパーテープ…コードアジャスタを取付けている位置や、昇降コードを通して位置。

① 幕体を降ろしてください。

② コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをシェイパーテープから取外してください。

※ コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

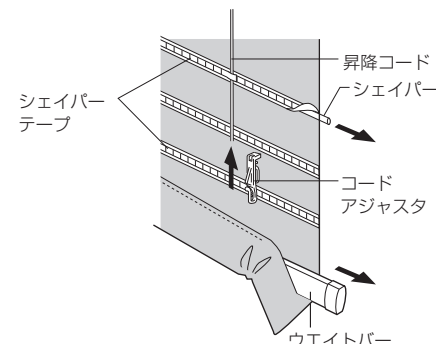
※ 両面仕様の場合は、表裏の幕体から両面クリップを取外してください。

※ 両面クリップは無くさないように保管しておいてください。

③ ウェイトバー、シェイパーを取外してください。

※ シェイパーは無くさないように保管しておいてください。

④ ヘッドレールから幕体を取外してください。



バルーン、オーストリアンスタイルの場合

※ 昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ(コードアジャスタ上端部の位置に)ペンで印をつけておくと、後で昇降コードを巻く位置の目安となり、取付けしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

① 幕体を降ろしてください。

② コードアジャスタからウェイトを取外してください。

③ コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをループ付テープから取外してください。

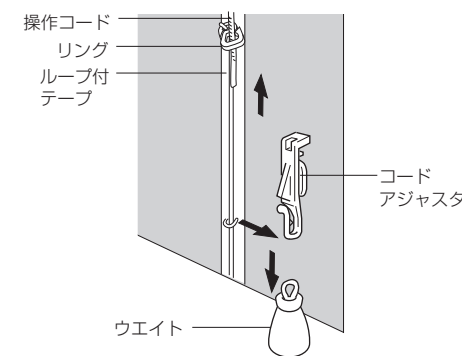
※ ウェイト、コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

※ オーストリアンスタイルはコード止め上をまわして、ガイドコードを取外してください。(P. 14 ガイドコードの取付け方法参照)

④ ヘッドレールから幕体を取外してください。

⑤ ループ付テープからリングを取外してください。(P. 16 幕体の取外し方法、プレーンスタイルの場合参照)

※ リングは無くさないように保管しておいてください。



お手入れ方法

幕体のお手入れについて

- 幕体裏面の取扱い方法を記載したラベルを確認してください。
- 洗濯絵表示ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
- お手入れ方法ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。

幕体の取外し方法

ブレーススタイルの場合

※昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ(コードアジャスタ上端部の位置に)ペンで印をつけておくと、後で昇降コードを巻く位置の目安となり、取付けしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

①幕体を降ろしてください。

②コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをループ付きテープから取外してください。

※コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

※両面仕様の場合は、表裏の幕体から両面クリップを取外してください。

※両面クリップは無くさないように保管しておいてください。

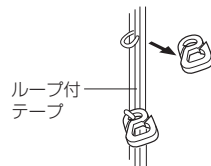
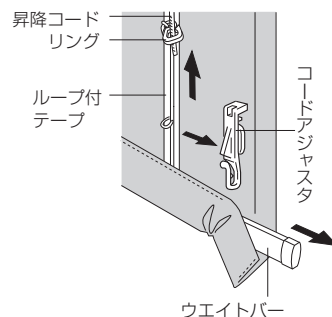
③ウエイトバーを幕体より取外してください。

④ヘッドレールから幕体を取外してください。

⑤ループ付テープからリングを取外してください。

※リングは無くさないように保管しておいてください。

※両面仕様の場合はリングはありません。



シャープスタイルの場合

①ヘッドレールに幕体(別売)を取付けてください。

※P.8「ブレーススタイルの場合①」を参照してください。

②両端にある巻取ドラムは、ヘッドレール両端より8cm(昇降コードが下がる位置まで)の位置に移動して固定してください。

③中間の巻取ドラムは、昇降コードの下がる位置が等間隔になる位置へ移動して固定してください。

※2スワッグ製品幅510~530mmの場合、中間の巻取ドラムの位置が若干ずれますが、昇降操作には支障ありません。

※固定方法はP.8「ブレーススタイルの場合②」を参照してください。

④最下部のループ部に、コードアジャスタを取付けてください。

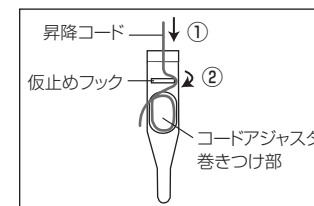
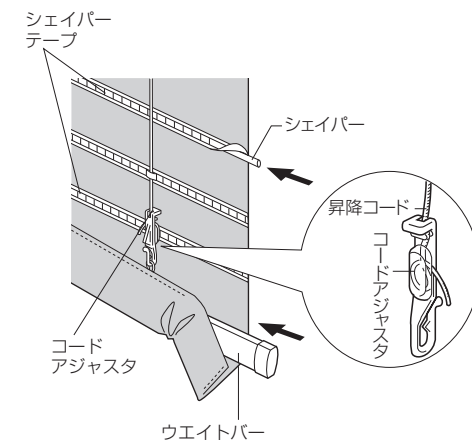
⑤ウエイトバーを幕体に差し込んでください。

⑥昇降コードをシェイパーテープに通してください。

※最下部のループ部から、上方向に一本ずつとばしたシェイパーテープに、昇降コードを通してください。

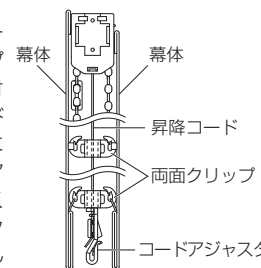
※両面仕様の場合は右下の〈両面仕様の場合〉に従ってください。

⑦幕体の左右高さのバランスを調整しながら、各昇降コードの張り具合が同じになるように、昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。



〈両面仕様の場合〉

●表裏の幕体のシェイパーテープと最下部のループ部に両面クリップを取付けてください。昇降コードを両面クリップの中央に通し、最下部でコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタのフックは幕体に固定しません。



バルーン・オーストリアンスタイルの場合

① ヘッドレールに幕体(別売)を取付けてください。
※ P.8「ブレーススタイルの場合①」を参照してください。

② ヘッドレールに幕体(別売)を取付けてから巻取ドラムのつまみを90°ひねって移動し、昇降コードをループ付テープの位置に合わせ、再度90°ひねって固定します。

※ 2スワッグ製品幅510～530mmの場合、キャップ側と中央の巻取ドラムとループ付きテープの位置が若干ずれますが、昇降操作には支障ありません。

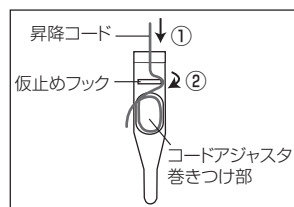
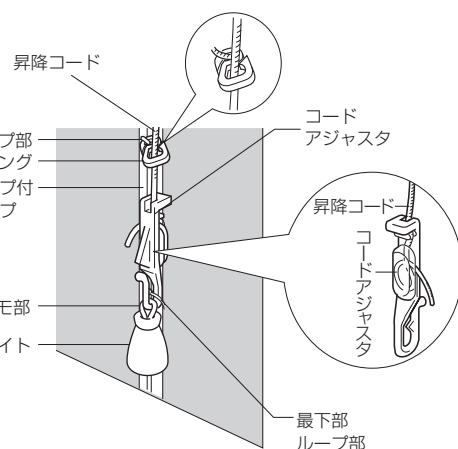
③ ループ付テープ最下部のループ部へ、コードアジャスタを取付けてください。

※ リングが外せない場合は、直接リングに取付けてください。

④ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。

⑤ 幕体の左右高さのバランスを調整しながら、各昇降コードの張り具合が同じになるように、昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

⑥ ウェイトをコードアジャスタに引っ掛けてください。(バルーン、オーストリアンスタイルは大きいウェイトをそれぞれ両端のコードアジャスタに引っ掛けてください。)



操作方法

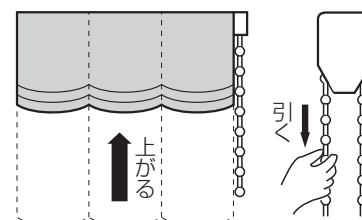
注意

- ① 幕体の昇降操作は必ずボールチェーンで行ってください。
- ② 幕体を降ろすときは必ずボールチェーンに手を添えて操作してください。途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

〈クリエイティドラムの場合〉

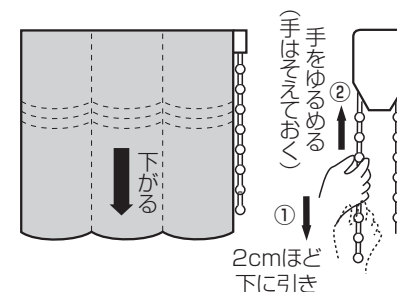
■ 幕体の上げ方

- ① 手前のボールチェーンを下に引いてください。
- ② 途中で止める場合は、ボールチェーンを引く手をゆるめるとストップがかかり止まります。



■ 幕体の降ろし方

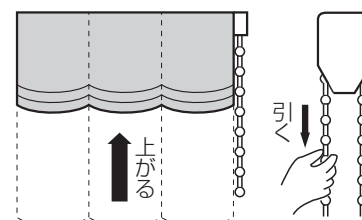
- ① 手前のボールチェーンを2cmほど引き(①)、手をゆるめてください(②)。(その際少し手をそえておくようにします。)
- ② 途中で止める場合は、再度ボールチェーンを握り、2cm以上引いて確実にストップが掛かっていることを確かめてから、手を離すようにしてください。



〈クリエイティドラムギアタイプの場合〉

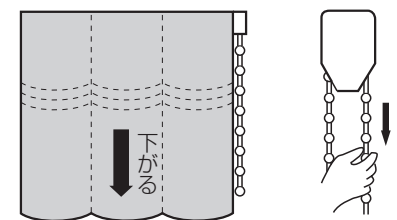
■ 幕体の上げ方

- ① 手前のボールチェーンを下に引いてください。
- ② ボールチェーンから手を離すとストップがかかり止まります。



■ 幕体の降ろし方

- ① 奥側のボールチェーンを下に引いてください。
- ② ボールチェーンから手を離すとストップがかかり止まります。



平窓・出窓共通（オーストリアンスタイルの場合のみ）

■ ガイドコードの取付け方法

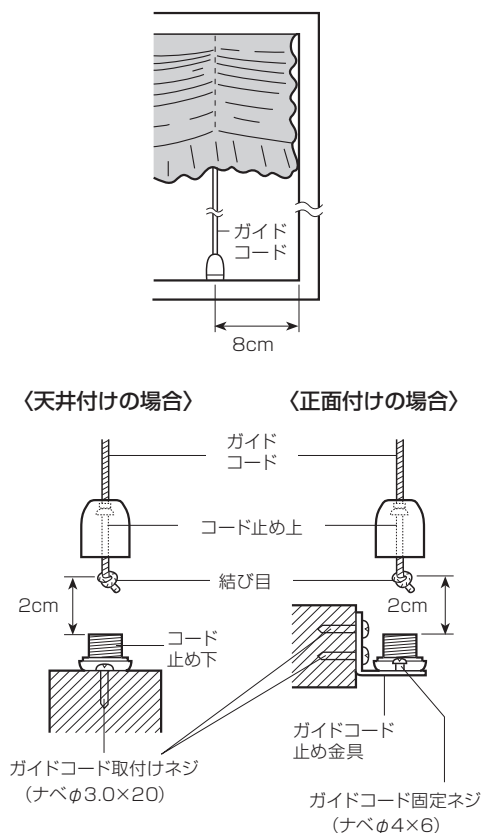
- ① 両端のガイドコードはリングに通し、垂直に降ろした位置（ヘッドレール端より8cm）にコード止め下をガイドコード取付けネジ（ナベφ3×20）で取付けてください。

※ 正面付けの場合は、ガイドコード止め金具をガイドコード取付けネジ（ナベφ3×20）2本で取付けてからコード止め下をガイドコード固定ネジ（ナベφ4×6）で取付けてください。

- ② ガイドコードを真下に軽く引き、コード止め下より約2cmの位置になるところで、結び目をつくるようにしてください。（余分なコードはカットしてください。）

- ③ コード止め下にコード止め上を回して固定してください。

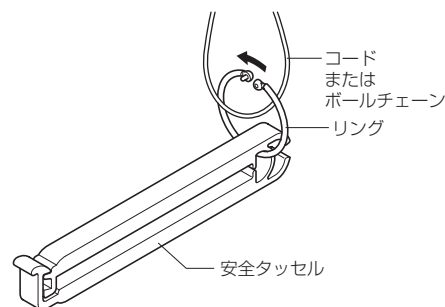
※ ゆるくなったらさらにガイドコードを約5mmずつ短くして、適度な張りになるよう調整してください。



平窓・出窓共通

■ 安全タッセルの取付け/使用方法

- この安全タッセルは、お子様が操作コードやボールチェーンを首や体に巻きつけて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。
- 付属のリングで、安全タッセルを操作コードやボールチェーンに取付け、お子様の手が届かない位置で操作コードやボールチェーンを束ねて、留めてください。



製品の取付け/取外し方法

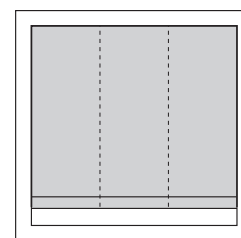
⚠ 注意

- ⊘ ヘッドレールの溝を持ったり、ヘッドレール内の部品を押し込まないようにしてください。
- ⊘ 付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

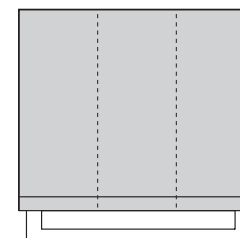
〈天井付け〉

窓枠の内側に取付ける方法

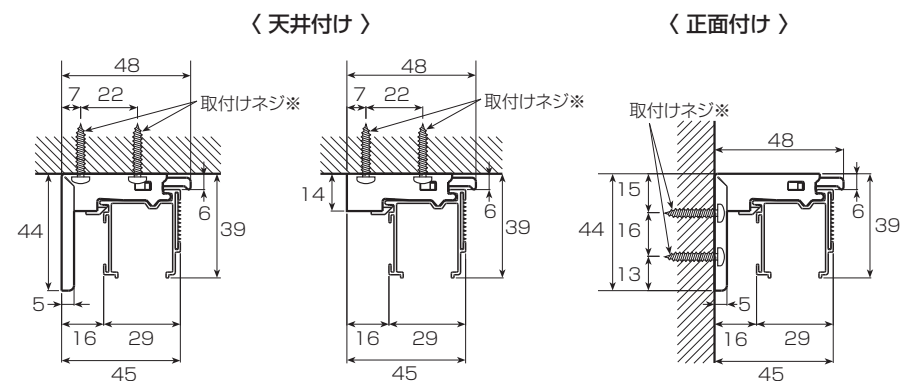


〈正面付け〉

窓枠の外側に取付ける方法



■ 取付け寸法図(mm)



※ 出窓の場合は天井付けのみとなります。

※ 取付けネジは下地位置の状況に応じて図のどちらかの位置に取付けてください。

※ 幅が2010mmを超える製品を正面付けする場合は、ブラケットの上のネジ穴で固定してください。

平窓の場合

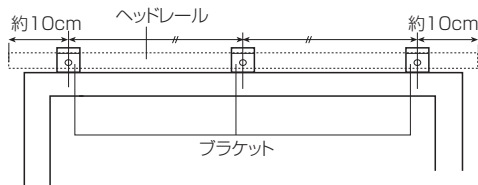
■ ブラケットの取付け位置

- 両側のブラケットは、ヘッドレール両端から約10cmの位置に取付けネジ(ナベφ3.5×20)で取付けてください。

※ ブラケットの使用数は下表の通りです。使用数は必ずお守りください。

製品幅 (mm)	ブラケット使用数
～1200	2個
～2000	3個
～2900	4個

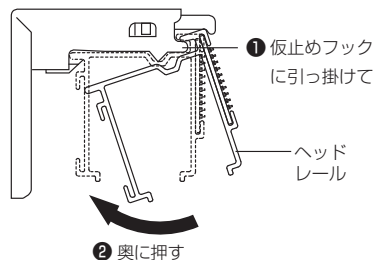
※ 製品幅1210mm～の場合は、ブラケットが3個以上必要となりますので、それぞれ等間隔になるように取付けてください。



■ ヘッドレール(本体)の取付け/取外し方法

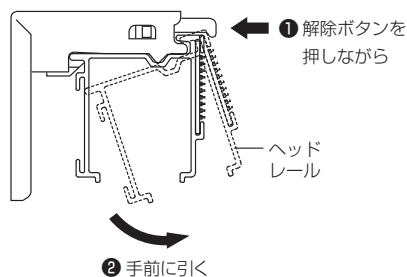
〈取付け方法〉

- ① ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② 本体を奥に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。



〈取外し方法〉

- ① ブラケットの解除ボタンを押しヘッドレールを手前に引いてください。
- ② 本体を仮止めフックからはずしてください。



注意

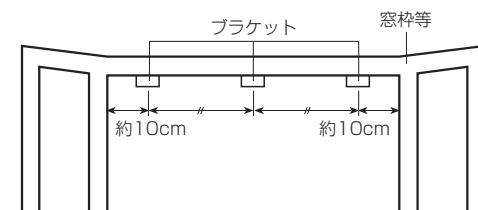
- ① 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。

出窓の場合

■ ブラケットの取付け位置

- ① 正面またはいちばん大きい面のブラケットを取付けネジ(ナベφ3.5×20)で両端より約10cmの位置に取付けてください。

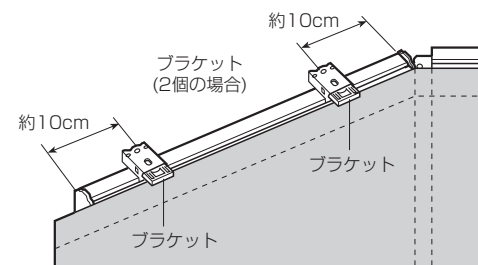
※ 3個以上の場合は、等間隔になるように取付けてください。



- ② 側面または小さい面は、ブラケットをあらかじめヘッドレールに取付けてください。

※ 1個の場合は端から約10cm、2個の場合は両端から約10cmの位置に取付けてください。

※ ブラケットの取付け、取外しはP.12ヘッドレール(本体)の取付け、ヘッドレール(本体)の取外し方法を参照してください。



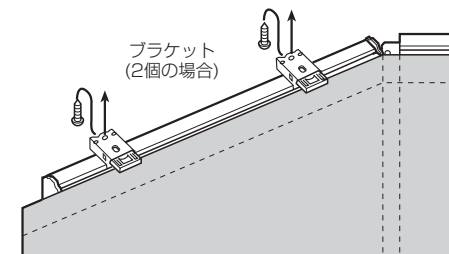
■ ヘッドレール(本体)の取付け方法

- ① 正面または、いちばん大きい面のブラケットにヘッドレールを取付けてください。(P.12ヘッドレール(本体)の取付け方法参照)

- ② 側面または小さい面は、ヘッドレールに取付けたブラケットを直接取付けネジ(ナベφ3.5×20)窓枠等に取付けてください。

※ コーナーにシワが出た場合は幕体を一度はがして、はり直してください。

※ 両端の隙間が無くなるように、リターンを角度を調整してください。



注意

- ① 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。